**回帰線を引く**

グラフを選択し、ダブルクリックする

↓

左上のロゴ　「グラフ要素追加」のプルダウンメニューで

↓

近似曲線　を選択するとグラフに回帰線が破線で表示される。

↓

この線を選択しダブルクリックする

↓

右側に窓が現れるので、そこの「近似曲線のオプション」を選択する

↓

☑切片

切片を強制的に原点を通るようにする

☑グラフに数式を表示する

☑グラフにＲ－２乗値を表示する

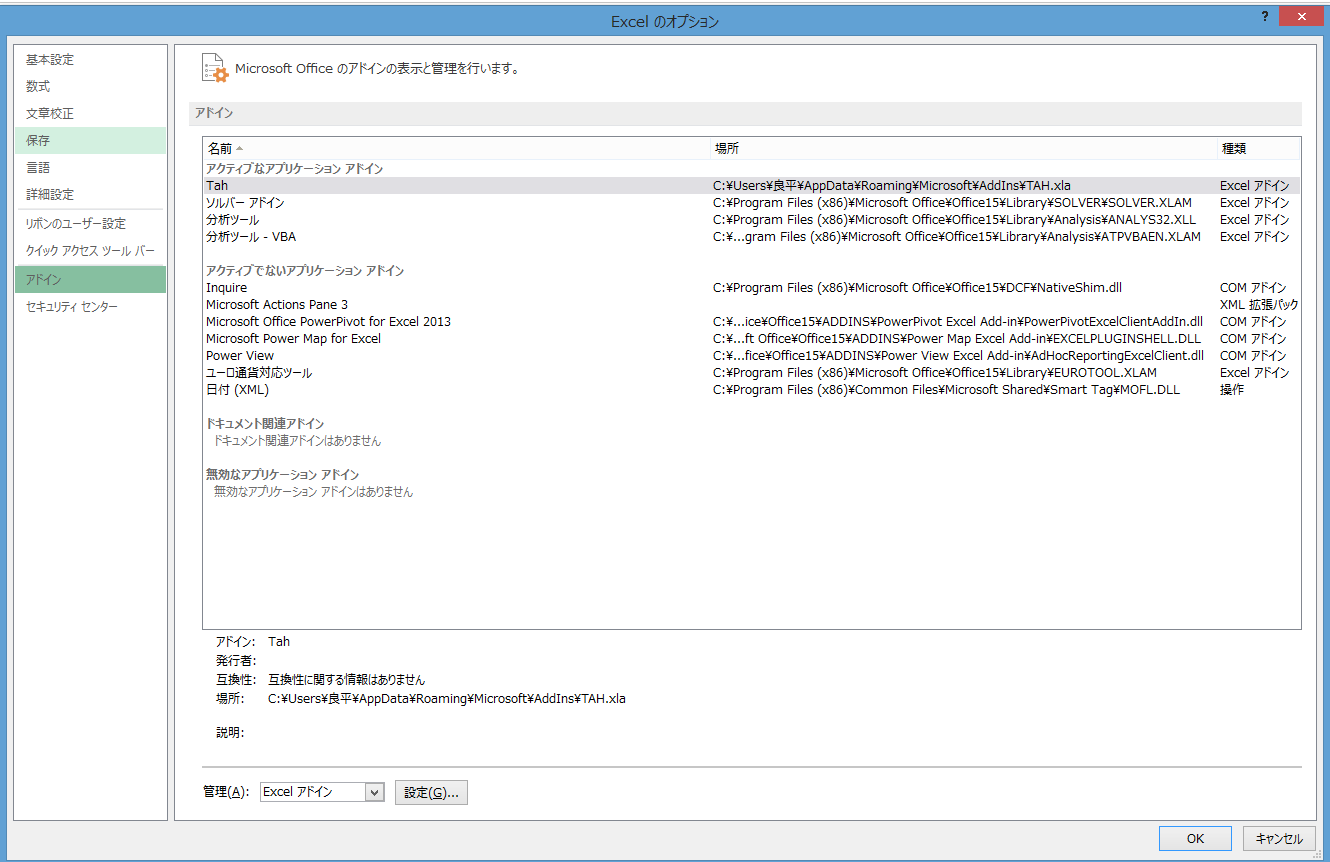
これで回帰式が示され、決定係数も表示される。

**回帰分析が実行できるように設定**

ファイル

↓

アドイン

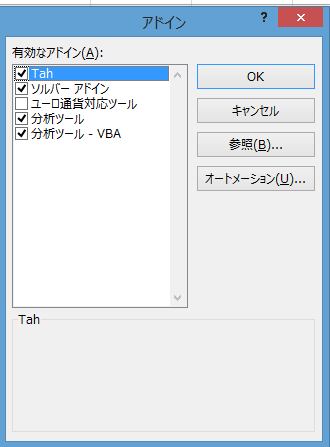


↓

下にある設定（Ｇ）…をクリック

↓

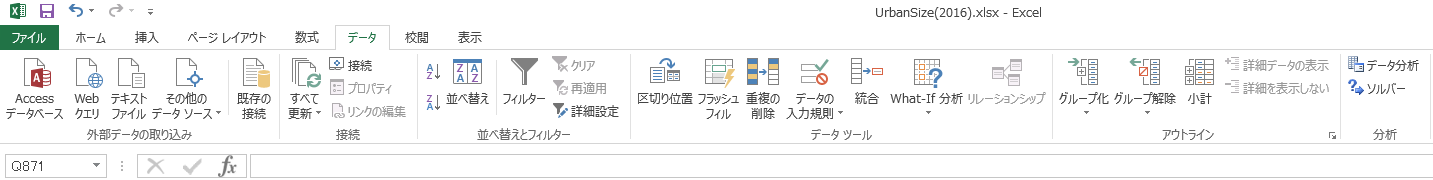
☑分析ツール　→　OK



**回帰分析を実行するには**

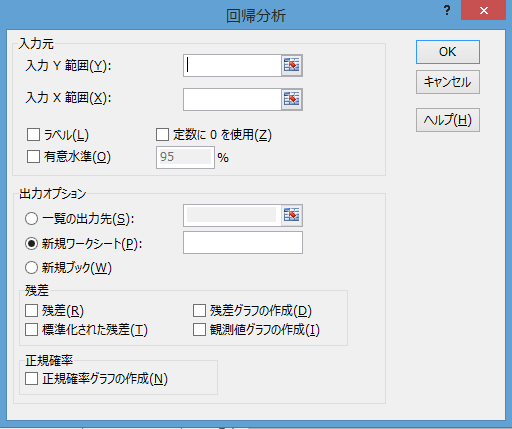
メニューの　データ

右端の　データ分析

****

回帰分析　⇒　ＯＫ

とすると、次の窓が開くので



Yの範囲とは、左辺の被説明変数のこと

Xの範囲とは、右辺の説明変数のこと。説明変数が複数あるときは列が隣り合っていることが必要。